

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 72

令和5年(2023)
11月9日

おもな内容

議会のあり方	2～5
本会議	6～7
決算特別委員会	8～10
議会ってQ&A	10
一般質問	11～23
常任委員会報告	24～25
採決一覧・議会日誌	26
議案一覧	27
みんなの広場	28

トピックス 議員定数のパブリックコメント
129人応募!



(令和5年10月7日 大庭認定こども園運動会)



10月12日「議会改革と議員定数」について研修を行った

適正な議員定数 12名

(48才)

人口減少及び有権者数の減少に伴い議員定数は見直されるべきである。増減いづれもメリット、デメリットはあるが現状を見つめ、現状では減数が適当と考える。国会のように会期中に是が非でも法策可決することが良いとは思わないが問題は山積しているにも関

わらず、一向に方向性の見えない議論ばかりであると感じる。議会の方の活動にしても考え及び活動内容のわかる方もあるが、それらが全く見えないばかりか、議会における賛成反対の意図がわからない方もある。適正な定数のみならず有意義な議論がなされることを望む。

委員会の考え方

人口減少の問題は、我が町においても大きな問題であります。ご指摘のように本町の人口は平成17年合併時18,324人が本年4月では13,274人で、5,050人が減少しています。それに伴い高齢化率は41.9%に上昇し、昨年度出生者は町全体51名で合併時の半数近くに減少し、正に少子高齢化が顕著です。

その中であって議会が多様化、複雑化する住民ニーズや地域の課題に地方公共団体が対応するため、団体の意思を決定する重要な役割を担っています。人口減少にあっても、この原則を維持し続ける議会改革が必要と考えています。

既に、人口減少を反映した議員定数削減を実施している市町村も

ありますが、本来の議会の使命と役割の発揮の視点から、その均衡を考慮する必要があります。と思っています。

頂いたご意見の、人口比較からみた議員定数や議員一人当たりからみた有権者、議会制民主主義の視点など、いずれも重要な視点であり町の地理的形成や特殊性も含め、委員会として真摯に受け止め、今後の調査活動に生かします。

○議会改革と議員定数・報酬

(提出された意見 12人)

適正な議員定数 12名

(66才)

人口の減少などにより、税収の増加が見込めない。時代の方がその方向に向いている。議員を減らして、議員報酬をもう少し上げた方が良い。

適正な議員定数 12名

(68才)

県下でも同じような規模の市川町12名、神河町11名であり、新温泉町の議員の数が多い事がわかる。また、減らした議員報酬を新たな議員報酬に上乗せして、若い議員さんでも議員活動に専念できる報酬にする。議員は地域の代表でもあるが、町全体の代表でもある。町全体の利益のために活動してほしい。議員の中には委員会やその他の事務処理ができなくなる御心配であるが、その人数でできる範囲でやっていただければいい。報酬を上げ町民のために専念していただきたい。

委員会の考え方

議員定数と議員報酬はそれぞれ独立した課題であります。議会

改革を進めるうえでとても重要な課題であります。

議会改革は地域民主主義の実現であり、住民自治をどのように創りだすかということから出発しなければなりません。議員定数・報酬を考える場合も、住民自治を充実させるための条件として議論し、現在の議会のためだけではなく、多くの多様な住民が将来、議員になりやすく、また活動しやすくする条件でもあると考えています。併せて、議会力をダウンさせないために、議会事務局の充実や、住民と議員とが一緒になって地域課題について調査研究するなど、住民による政策提言・監視の支援を制度化すべきと考えています。頂いたご意見は委員会としても真摯に受け止め、今後の調査活動の参考にします。

(提出された意見 3人)

(73才)

その理由の第一として、議員定数が小規模の議会の定数をさらに減員するということ

A collection of Japanese government forms, including a 'Shikoku' (Shikoku) form, a 'Shikoku' (Shikoku) form, and a 'Shikoku' (Shikoku) form, all featuring a circular official seal.

る。

適正な議員定数 14 ～ 16 名
(67才)

経費削減には繋がるが、議員定数削減が、いいとは思わない。少数の者だけになっ

たら、多種多様な意見が議論されない恐れがある。少数の議員の考えが、町民の意見だと
して、様々な決定がな

委員会の考え方

命を担っています。また、二元代表制の下、町長その他の執行機関と対等の立場にあり、議会として自主的・自

特に、地方公共団体の政策形成過程及び政

これらの使命が効率的に発揮できるように、頂いたご意見は委員会の調査活動に生かします。

(提出された意見 8人)

(年令記載なし)

けでなく議会報告を地区単位で聞く。○議員研修を深め提案型の議会にする。○選挙の時に「名前の連呼」をせず政策を語る。○選挙の時に公聴会を地区単位で開く等々の制度設計とその内容が検討課題だと思う。議員の資質が向上すれば地方自治が守られ、住民の安心感、安定感に繋がる。減らしたほうがいいー身を切る改革だ！の論調は民意を切り捨て

論が必要だ。

●●●●●●●●●●
適正な議員定数 12名

(62才)

議員定数削減には賛成。しかし議員数を減らす議論より議員の質を高める方が大切。

●●●●●●●●●●
適正な議員定数 12名

(71才)

町議会の質は議員数ではなく、議員の目配りによる不断の努力が支えるものです。

委員会の考え方

議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて住民の個別意思を総合して町の意思を形成する任務を担っています。

議員は、町民の負託に応えるため、議案に対する的確な判断及び町政の課題を解決する施策の提案が求められる

ます。町民の意見を把握するとともに、議員として必要とされる能力を高めるよう研鑽と努力が必要です。また、一部の地域、団体ではなく、町民全体の代表者としての倫理性を常に自覚し、資質の向上と品位の保持に努めなければなりません。

頂いたご意見は委員会としても真摯に受け止め、議員自らが研鑽する仕組みや制度を研究します。

〇議会・議員への批判と対応

(提出された意見 8人)

適正な議員定数 11名

(年令記載なし)

私は、本来優秀な議員ならば、議会制民主主義においては上限の22名が、適正であると考えます。しかしながら

今般、4,000名の請願書の署名がある

のでこの請願書に従えと公言する議員が、新温泉町に存在することは、間接民主主義の意味を全く理解していないと思います。有権者が約11,000人なら7,000名の人がこの請願書に反対とも取れます。

●●●●●●●●●●
適正な議員定数 13名

(68才)

多いとか、少ないとか、議論したくないが、今現状の議会運営の見窄らしさには辟々しています。減らしたから、どうのこうのは、ないが要は資質の問題なのか。真剣に向き合っている人が何人いるかだな。新人に期待したが残念な状況だな!!本当、この町どうすんの?

●●●●●●●●●●
適正な議員定数 12名

(74才)

質問等しない議員も

いるので人数をへらし たほうがよい。

委員会の考え方

議会は、町民を代表する議事機関であり、町政の課題及び争点を明らかにするとともに、多様な民意を反映するため、公正性及び

透明性をもって町民参加や町民に開かれた議会運営を行うべきと考えています。常に、町長等と緊張ある関係を構築し、各議員の発言及び議員相互の討議

による各種委員会を通じ、議会の権限を行使するものといえます。一連のご意見で、議会や議員への批判の要因は情報公開・提供にあると思われる。現在でも議会本会議や委員会では基本的に公開し傍聴はできますが残念ながら少数の方です。一般質問はケーブルテレビや町HPを通して

現在、議会改革の一環からタブレット端末の導入を具体化し、本会議や委員会の中継を検討しています。これにより、議会運営や議員の発言と議論が可視化され、議会の理解度が向上できると思われます。新

じて映像で公開しています。また、各定例会の内容は議会広報を通じてお知らせしています。頂いた意見は委員会としても真摯に受け止め、今後の調査活動に生かします。

●●●●●●●●●●

しい「開かれた議会づくり」として制度化する必要があります。頂いた意見は委員会としても真摯に受け止め、今後の調査活動に生かします。



令和4年度決算認定

台風7号関連の補正予算可決

新市橋修繕工事契約変更に質疑・討論続出

あらまし

第126回定例会が9月6日から10月2日までの27日間で開催しました。町長提出案件の報告4件、条例改正案2件、事件案3件、専決補正予算案1件、補正予算案9件、決算認定11件、人事案15件、請願1件を慎重審議しました。

特に令和4年度一般会計他10会計の決算審査においては、議長を除く15名による決算特別委員会が4日間にわたり、審査しました。(4～5ページ参照)

また、一般会計補正予算においては、台風7号の災害復旧関連等の補正予算が提案され、原案通り可決しました。人事案件では農業委員1名の方が賛成少数で不同意となりました。事件案では、新市橋修繕の契約変更について(2議案)多くの質疑や討論がありました。したが、賛成多数で可決しました。請願は賛成少数で不採択となりました。

町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結について(議案82号)

【説明】 工事施工中の途中で床版(しょうばん)下面に新たなひびわれが発生し、ひびわれ注入工を追加するもの。

Q 工事の管理は誰がしていたのか。

A 請負業者と町である。

Q 高価なものを注入する必要はないと判断するが、設計者の判断はどうか。

A 単価は妥当である。ひびわれを防ぐこ

とが必要で補強工事が必要と判断された。賛成多数で可決

反対討論

河越 忠志 議員

本件は工事期間中に、床版下部のひびわれ箇所が増加し、その対応が必要になったものだが、根本的な対応設計ができるまでの時間が無駄にならないようひびわれ箇所への樹脂注入だけを先行して早急に実施するための契約変更だ。

床版下部のひびわれは、強度不足を示している。樹脂注入は補強にはならず、床版自体の改築もあり得る。

単に時間短縮を目指すのではなく、強度不足への対応策を確定しなければ、無駄使いとなる可能性がある。

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

【説明】 令和4年度の決算に伴い、自治体の財政の健全度を示す4つの指標の本町の数値が報告された。一般会計等の実質赤字の比率である実質赤字比率は、黒字のため数値なし。すべての会計の実質赤字を示す連結実質赤字比率も、黒字のため数値なし。公債費や公債費に準じた経費の比重を示す実質公債費比率は11・1%(早期健全化基準は25%)。地方債の残高や一般会計が将来負担すべき実質的な負債をとらえた比率である将来負担比率は28・2%(早期健全化基準は350%)であった。

Q 将来負担比率が低下したが、それは公共施設の修繕等をしていないということではないか。

A 数値の基準を守りつつ、計画的に修繕等を行っている。

一般会計補正予算3号

【説明】 台風7号の災害復旧を早急に行う必要があることから、農業施設・農地・町道・河川等の復旧のための測量設計業務等726万9千円を専決処分

一般会計補正予算4号

【説明】 地方交付税の確定、決算による繰越金の確定、県補助事業等で7520万6千円を増額補正するもの。

Q 森林ビジョンの策定には、有害鳥獣対策や治山治水対策も盛り込まれるのか。

A このビジョンは森林の整備活用について策定するものであり、それらを盛り込むことは考えていない。全員賛成で可決

会 計 名			当 初 予 算	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計			12,181,200	213,412	12,607,785
特別会計	国民健康保険事業	事業勘定	1,812,500	7,847	1,820,347
	後 期 高 齢 者 医 療		244,934	△ 4,739	240,195
	介 護 保 険 事 業		1,919,070	10,034	1,928,155
	浜 坂 地 区 残 土 処 分 場 事 業		1,048,500	150,549	1,199,062
	七 釜 温 泉 配 湯 事 業		6,894	3,472	10,366

人事案件

3つの役職が任期満了となり、議会に選任同意を求められ無記名投票で採決した。固定資産評価審査委員会委員3名が提案され全員を選任同意した。

農業委員会委員11名が提案され、10名を同意、1名を不同意とした。人権擁護委員の推薦では1名が提案され全員賛成であった。

町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結について（議案107号）

（説明） 新たなひびわれを補修した後、補強工事を行う必要が生じたため、炭素繊維シート設置工を追加するもの。

Q 補強工事をする根拠は何か。炭素繊維シート設置工を選択した理由は何か。

A ひびわれの発生を防ぐためである。鋼板を接着させる方法もあるが、重くなる。炭素繊維シートは劣化が少なく、長期間の効果があり、使用実績も多数ある。

賛成多数で可決

反対討論

米田 雅代 議員

前回9月6日の議案第82号の際には、一日でも早く工事が完成してほしいとの思いで賛成した。しかしながら、6月中旬には確認されていた“ひびわれ”に対し、今回の説明では、なぜ、議案第82号上程時に工法が決められなかったのか、その理由が判然としなかった。また、この工法で安全性が確保されるのか、数値

で示されなかった。行政が、事業を推進する上で、数値で示すことは、何よりも重要である。そのことで町民の理解が得られるものと考えている。

反対討論

河越 忠志 議員

本件は工事期間中に、床版下部のひびわれ箇所が増加し、当該箇所に樹脂注入した後の床版を補強するものだが、床版の強度不足値及び本件工事による強度増値を把握していないだけではなく、経年した現在のコンクリート強度さえも調査できていない、工事の適否の判断ができない案件だ。ただ、立ち止まって、再確認する以外に、議会としての責任は果たせないと思う。

請願



何度も契約変更となった新市橋、早期の復旧が待たれる

物価上昇に見合う高齢基礎年金の改善を求める請願書

（説明）

物価高騰で年金生活者は大打撃を受けている。年金を引き上げれば、高齢者の生活が改善されるだけでなく、地域経済も活性化し、中高年や若者の将来負担を解消する。よって政府に意見書を提出するよう請願するもの。

賛成少数で不採択

賛成討論

中井 次郎 議員

物価高騰などで必要な生活費が増えていく。しかし、年金は物価高騰に追い付かず、厳しい生活を強いられているため、物価高騰に合う基礎老齢年金の引き上げを求める。基礎老齢年金が引き上がると、厚生年金等の底上げにもなる。そのための財源は2020年度9月末で402兆2千億円の年金資産があり、その一部を取り崩せば対応できる。年金額の引き上げは、中高年や若者の将来不安を解消し、地域経済にも活力を与えるものである。

『政策の効果をチェック!!』

決算認定は、決算から施策の成果を点検し、次年度に反映すべく議論するものです。決算特別委員会では、議長を除く15名で決算特別委員会を組織し、慣例で副議長が委員長となり、一般会計、特別会計、企業会計等11会計を審査しました。多くの議論がありましたが、一般会計の主なものを抜粋して紹介します。

総務費

Q 交通安全対策の工事請負費の内容は何か。

A 通学路のグリーンベルトの区間線の引き直しが主である。他にも使える費目だが、通学路を優先した。

Q 出前講座参加者が1118人と800人以上増えた要因は。

A 健康づくり関連の講座が人気であったためである。

Q 但馬空港利用助成金が386人増の661人、471万円に増えたが、今後の定期利用に繋がっているか。

A リピーターや小学校の搭乗体験で利用者が戻ってきた。利用した方は、伊丹空港利用の利便性を感じているので、今後リピーターを1人でも増やしたい。

Q ワークেশン交

流会等実施及び情報発信の605万円の内訳は何か。

A ワークেশン事業の交流会目的で、新温泉町、東京、大阪での会場費、交通費が含まれる。

Q 豊岡演劇祭のイベントが香美町でも開催されたが、新温泉町でも開催できないか。

A 3年前の開催当初に打診があったが断った。それ以降打診が無い。

Q 町民バスの定期券利用が増えたが要因は何か。

A 浜坂高校生の定期券負担を四分の一に軽減したためである。

民生費

Q こども未来協議会とは。

A 町内4園の連携強化のための交流事業をしている。令和4年度は、町内全園児・保護者を対象にしたファミ



ファミリーコンサートのようす（夢ホール）

リーコンサートを実施した。

Q 放課後児童クラブの利用人数が大幅に増えているが、支援員や設置箇所は不足していないか。

A 需用が伸びているが、現状の2か所、人員5人で足りている。場所を増やすには人員確保が課題。

Q 浜坂認定こども園の耐震診断の数値が良かったことにより、耐震補強に関する設計が不要となった。関連する業務委託料は減額したか。

A 県の基準を準用して減額した。

Q 一時的保育が増加した理由は。

A コロナのため早めの里帰り出産が増えたため。

Q 幼保教諭の免許取得のための補助金は実績ゼロか。

A 昨年までの事業でほとんどの職員が取得済みとなったため、利用がなかった。

衛生費

Q 地球温暖化対策実行計画策定業務はどのようなことをしたか。

A 同計画を策定した。また、町の現状把握のため、町民アンケートやポテンシャル調査を実施した。

Q 320人の接種を予定していた子宮頸がん予防ワクチンの実績は。

A キャッチアップ接種は330人に対し64

人、通常定期接種は162人に対し45人。

Q 不法投棄対応の職員は常にその対応をしているわけではないと思うが、普段の業務はなにか。

A 道路パトロールや除雪作業。

Q 利用の少ない岸田出張診療所の営業を継続するか。

A 必要とする方がおり、医師も配置できているため継続する。なお、交付税措置分を考慮すると赤字ではない。

労働費

Q ふるさと就職奨励・定住促進交付金の財源は。過疎債や補助金を得るなどして拡充できないか。

A ふるさと納税による自主財源である。他市町にも同様にある制度。補助金を得づらい事業内容である。

Q 企業ガイドブック

の内容と活用方法は。

A 町内企業52社の情報を掲載。2年に1度発行しているが、掲載数は前回より2杜減。

高校やハローワーク、公共施設への配布のほか、大学3年生や専門学校に配布している。

Q サンシーホール浜坂の役割は、浜坂多目的集會施設と違いがあるか。

A 役場に會議室が不足しているため、役場の會議で利用している。また、地域コミュニケーションの場にもなっている。サンシーホールは県から譲渡された施設だが、利用制限が解除されている。

農林水産業費

Q 新規就農者確保事業実績4名の内訳は。

A 畜産2、野菜1、花1名。5か年の支援事業のため昨年度実績の7名のうち3名が終

了し、4名が令和4年度実績。

Q 地籍調査事業における土地購入費は何か。

A 林道池ノ尾線の地籍調査で土地が確定し、未買収だった土地を購入したもの。

Q 地権者に支払っていないかったのか。

A 土地面積確定後に支払う契約を交わしていた。支払い額のうち半分は県が出す。

Q 但馬牛生産振興担当の協力隊応募がないが。

A 過去の協力隊定着状況を鑑みて、畜産経験者が望ましいと考え、採用の条件を厳しくした。

Q 水産等活性化に関する事業で、松葉ガニタグの作成数が減っているのに金額が増えているのはなぜか。また、どのような広告宣伝をしているか。

A タグの在庫状況を踏まえ漁協が作成数を決定している。神戸三宮でのほたるいかの販売会、杉並フェスタ参加、新聞・グルメサイト等での宣伝。



新しい松葉ガニブランドタグ

商工費

Q 地域活性化施設（旧温泉高校）使用資格審査委員の報償金が全額不用額となつているのはどうしてか。

A 問合せが4件あったが、施設利用の申請には至らなかった。

Q 観光費需用費の不用額の割合が高い。事業推進のために減らす

べきではないが、なぜか。

A コロナ禍で施設の水道光熱費の減やノベルティ更新取り止め、また、杉並区のイベントへの参加を観光協会での実施としたため。

Q 温泉運営費の修繕料が予算比で160万円減となつているのはなぜか。

A ポンプ取り換えで予算を組んだが、現場をみるとオーバーホールで済んだため。

Q 日本ジオパーク全国大会不参加の理由はなにか。

A 他業務を優先した。今年度も不参加。

Q イベント等で職員を休日出勤させるのはいかがなものか。本来なら事業委託すべきだが、やむを得ないのであれば時間外勤務手当はつけるべき。

A 都会のイベントと違い、過疎地では人手

不足で難しい。慣例的に職員に出てもらっている。職員組合との協議の上、週の労働時間を鑑み、1日振替、半日振替休日を取ってもらうことは、各団体のボランティアもあり、整合性がとれない。

土木費

Q 用地管理の委託料が全額不用額となつているがなぜか。

A 国県事業の測量が多くあり、町の予算の範囲内でできるものが令和4年度はなかった。

Q カラー舗装する場所の選択基準はあるか。

A 湯村内街並み環境事業の一つである。地域の住民と協議し、ベ

Q 老朽危険空き家支援事業で不用額が出ているのはどうしてか。

A 5件分の予算計上

に対し、実行したのは3件である。

消防費

Q 消火栓・ボックスは何か所あり、保守点検管理はどうしているか。

A 959か所。管理は主に消防団が行い、年に50か所を業者に委託し点検している。

Q 防災訓練時に水を出してみたらどうか。

A 水出しの場合は町内会から事前届けをしてもらう。消火栓を使用すると、濁りが出る可能性がある。

教育費

Q 令和4年度の新規事業として、浜坂高校支援員を1名配置することになったが、結果はどうであったか。また、配置した成果は。

A 雇用期間・時間が短くなったが、1名配

置し事業推進した。業務内容は、大学進学や就職の補助、地元の企業訪問などを行い、高校教諭の業務内容の軽減を図った。

Q 工事請負費で、予算現額と支出済額が同じで、不用額が0円となっているが、どのように解釈したらよいのか。

A 予算流用した結果である。

Q GIGAスクール運営支援センターの成果は。

A 照来小学校と浜坂西小学校で遠隔授業のサポートを実施した。タブレットの教員向け研修を実施し、使用方法等に慣れた。

歳入

Q 入湯税の不納欠損は事業所が倒産したためか。

A 平成27年以前の滞納分で以降は事業廃止

されたが、今回自己破産処理が確定したため不納欠損処理を行った。

Q 不納欠損の判断基準は。

A 破産手続き完了後、生活困窮又は生活保護になり、滞納処分執行停止状態が3年続くと不納欠損処分となる。

令和4年度一般会計決算認定について

反対討論

河越 忠志 議員

決算認定は、当該年度の行政運営の適否を判断するもの、それは今後の予算編成や執行にあたっての指針になるものだ。議会では、予算編成にあたって大きな役割を担うことはできない。ほぼ賛成するしかない。進捗していないのは、こども園だけではなく、

く、浜坂高校支援、浜坂駅前整備、日本遺産・農業遺産活用、若者減少対策など課題は山積だ。財政指標が良いことは、施策が打てていない証でもあり、これで良いとは言えない。

公立浜坂病院会計

Q 未収金や不納欠損はどうなっているか。

A 5年以上の未収金は460万円くらいある。その中には死亡した人や生活保護を受けている人もいる。病院の未収金は税金と違い私債権であり、債権放棄の議決が必要。回収不能の場合権利放棄できる債権管理条例を作れば、不納欠損も可能である。

議会って

Q&A

Q 「議案」って何ですか。

A 簡単に言うと「議会の議決（良いか悪い）か決めてもらうこと」の対象となる案件」です。

Q 議案はどのように審査されるのですか。

A 議案は一般的に、まず、当局が議員に対して議案の「説明」をして、次に議員が「質疑」をし、最後に「討論」を行い、「表決」します。「表決」の結果が、議会の意思決定となります。

Q 「質疑」って何ですか。

A 議員が、表決をするために議案の説明に

対して、不明確な点などを質することです。

Q 「討論」って何ですか。

A 議員が、議案に対する賛成または反対の意見を議員の前で表明し、他の議員を自己の意見に賛同させることも目的とする発言です。

Q 「表決」って何ですか。

A 「表決」とは、議会の意思を決定するために出席議員が議案に対して賛成又は反対の意思を表明することです。通常、起立によって表明します。

Q 「議決」は、どうやって決めるのですか。

A 新温泉町の議会では、16名の議員で成り立っています。通常は、議長を除く15名の議員の多数決で決めます。賛成が8名以上であれば可決（賛成）となり、反対が8名以上となれば否決（反対）となります。賛成が多数となったときに議会の承認を取ったこととなります。欠席等があり、賛成反対が同数となったときは、議長が決めます。



ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
12	森田 善幸 議員 ①災害に強いまちづくり【掲載】 ②まちづくりに必要な人材と財源の確保	19	重本 静男 議員 ①ふるさと納税について【掲載】 ②獣害対策について【掲載】 ③教育について【掲載】
13	竹内 敬一郎 議員 ①地球温暖化防止対策【掲載】 ②学校・教育【掲載】	20	米田 雅代 議員 ①国民健康保険税額の算定ミスについて【掲載】 ②世界農業遺産但馬牛飼育システムについて ③台風7号の対応について ④広報しんおんせん9月号について【掲載】
14	西村 龍平 議員 ①各産業や課題に対する、町長の目指すべき将来ビジョン（10年、20年先を見越した理想の姿）【掲載】 ②公共交通機関に対する将来ビジョン【掲載】	21	河越 忠志 議員 ①行政としての姿勢について【掲載】 ②浜坂駅前周辺活性化と駅前広場の検討について ③障がい者グループホームについて ④官有地払い下げに伴う登記錯誤への対応について【掲載】 ⑤町道の消雪設備の水量不足について【掲載】 ⑥「リフレッシュパークゆむら」等の運営方針について ⑦空き家等の活用対策について【掲載】 ⑧浜坂地域の認定こども園整備について
15	中井 次郎 議員 ①今後の有害鳥獣対策【掲載】 ②猛暑とくらし ③台風7号災害と今後の課題【掲載】 ④猛暑と学校	22	浜田 直子 議員 ①浜坂認定こども園の早期新築整備について【掲載】 ②台風、大雨時の対策と対応。その後の海岸、河川の堆積物等の環境保全、美化について【掲載】 ③浜坂高等学校の支援について【掲載】 ④「相撲の町」について【掲載】
16	中村 茂 議員 ①人事院勧告等、会計年度任用職員の課題対応 ②一貫した学力向上と働き方改革【掲載】 ③温泉天国下、現場施設の活性化 ④地域運営組織の設立状況【掲載】 ⑤台風7号から見る災害対応【掲載】	23	池田 宜広 議員 ①町の課題について【掲載】
17	岡坂 遼太 議員 ①選挙公約の実行状況【掲載】 ②防災・減災対策【掲載】		
18	澤田 俊之 議員 ①町が抱える課題について【掲載】		

※質問は通告受け付け順に掲載しています。【掲載】は記事にした質問事項です。

台風7号 激甚災害指定の可能性は

町長 要望したが、いつ指定になるかわからない



森田 善幸 議員



問 台風7号の災害対策本部の立ち上げ、住民の避難状況、学校園の対応を問う。

町長 8月15日8時30分に、災害対策本部を立ち上げ、合計8回の本部会議を行った。避難所を浜坂地域で4施設、温泉地域で4施設開設した。避難者の人数は13世帯21名。学校園の対応は、小中学校はお盆の休み中で、児童・生徒の登校はないが、管理職は出席してもらった。認定こども園については、事前に台風の情報報道されていたため、登園した

園児はなく、休園とした。

問 今回の台風は、住宅の床下浸水、河川や道路、水道施設、農業施設、農地が至るところで多大な被害が出ている。畑ヶ平大根の出荷に向けて大切な時期に道路が寸断され、また多くの農作物が被害を被っているが、復旧状況はどうなっているか。

町長 法面、路肩の被災が27件、橋の被害が1件、河川被害が25件あり、災害査定に向け、設計の準備、応急対応できるところは即対応

している。農林水産関係では、農地135件、水路等が101件、林道が5件。9月は収穫期であり、応急対応を行っている。上水道3件、下水道1件については、即対応して復旧した。

問 大量の土砂が流入した農業用水路や、法面が崩壊し、農業倉庫が土砂に埋まったところもある。これらの農地や農業施設の復旧の工程や激甚災害の指定の可能性を問う。

町長 防災担当大臣の隣町への現地視察の際、激甚災害の指定を要望したが、激甚指定は、全体的な金額やエリア全体の状況の確認など一定のルールがあるとのこと、まだわからないとのことであった。※10月12日農業関係激甚災害指定

問 消防団の水防団としての活動状況は。

町長 消防団の本部団員は役場と温泉総合支所で災害状況の把握と情報収集を行い、本部

団員も含め、浜坂支団は121名、温泉支団は104名が出動し、災害予防、警戒、河川

水位の監視等に従事してもらった。

問 出動した各消防団からの水防情報は、どのようにどこに伝えられたか。

町民安全課長 分団から消防団の本部に情報があり、災害対策本部で把握を行った。



荒湯も上の湯壺まで浸水。土嚢を運ぶ消防団、台風の去った翌日は土嚢の撤去作業を行った



竹内 敬一郎 議員



熱中症対策として、学校体育館にエアコンの設置を

町長 避難場所になっており、早急に検討する

学校・教育

問 近年、小中学校の体育館での事業で、熱中症の疑いで病院に搬送されるケースが起きている。体育館使用時の暑さ対策はどうしているのか。

教育長 大型扇風機を導入している。

問 熱中症対策には、大型扇風機だけでは不十分である、エアコンの設置は検討されていないのか。

教育長 今後、体育館の空調設備は必要になると思うので検討していく。

問 学校にエアコンが設置されていない一番の理由は、財政問題である。指定避難場所となっている学校体育館のエアコン設置費用に、自治体が利用できない地方債を活用し、前

向きに検討してはどうか。

町長 早急に検討していく。

問 教育に新聞を活用するメリットは何か。

教育長 信頼性の高い、整理されている情報等を活用することで、深い学びにつながり効果は高いと思う。

問 新聞を授業で活用



体育館空調設備

する本町の事態は。

教育長 関心のある新聞記事の感想を書いたり、3分間スピーチの発表などの取組をしている。

問 小中学校の図書室に新聞を配備してはどうか。

町長 検討していく。

問 インターネットの影響で、本に触れる機会が減り続けている。子どもたちの読書体験は、その後の人格形成に大きく役立つものと思うが、読書の必要性についての認識は。

町長 小さいときの読書経験は非常に大事であり、人間形成に大きく関わってくると思う。

教育長 本に出会うことで、感性は磨かれ、想像力は豊かになる。人生を深く生きていくためには、小さい頃からの読書の習慣が大事と思う。

問 一冊の良書が偉大な人物を育んでいる。本との出会いによって、将来の夢を見つけた人は数多くいる。学校教育で読書の推進に取り組むことを切望する。

教育長 学校図書館司書を配置している。本とのいい出会いを子どもたちにしていきたいと思う。

地球温暖化対策

問 環境省は脱炭素を加速化するため、2030年度までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする脱炭素先行地域を選定し、交付金を配分している。本町は本年5月24日ゼロカーボンシティ宣言を表明したが、脱炭素先行地域に応募する計画はあるのか。

町長 応募する予定である。

特定技能外国人制度を積極的に活用すべきではないか

町長 介護、漁業など、支えてもらってる



西村 龍平 議員



町長の描く町の将来ビジョン、理想の姿とは

「特定技能外国人」

問 人口減少に伴う労働力の確保は喫緊の課題であり、特定技能外国人は住民税も納付し、町内の消費も向上する。この制度を積極的に活用すべき。

町長 生活を支える介護、仕事が見ついたが漁業などを、支えてもらっている。

「農業」

問 自給自足型、商業型のどちらに軸足を置くのか。

町長 両にらみが必要

で、温泉の活用等、新商品の開発は必要と
思っている。

「林業」

問 従来型の林業だけではなく、森林浴等、交流人口の拡大に寄与できるのではないかと。

町長 森林ウオーキングで健康作り等、これから作る森林ビジョンに組み込みたい。

「漁業」

問 漁獲量が激減する中、育てる漁業も必要になってくると思うがどうか。

町長 値段の高騰で経営は成り立っているが、将来的に捕る漁業

から育てる漁業への変換が必要だと思う。

「加工業」

問 駆除が必要な鹿について、鹿肉のペット用食品の加工製造は将来的にどうか。

町長 解体作業を行って多可町の会社に出荷し、そこで既にペット用食品を製造しているが検討したい。

「小売業」

問 車を運転できない高齢者市場に対し、新たな小売りの形を考えられないか。

町長 既に移動販売、ネット宅配を町外業者が行っているが、採算が取れにくいとも聞くので課題はある。

「観光業」

問 観光協会を1つに統合し、訪日観光客についても2030年について20万人計画といった

改革的なビジョンは描けないか。

町長 有望な海外観光客の誘致ができる方向性を打ち出したい。

「医療・福祉業」

問 浜坂病院の立ち位置、地域包括ケアシステムのなかでどう役割を果たしていくのか。

町長 救急医療も頑張っているが、今後、訪

問診療、訪問看護、訪問リハビリの充実を図っていく。

「町民バス事業」

問 鳥取県日野町は、町民タクシー、上限500円、最大16キロといった高齢者向け制度を始めた。参考にできないか。

町長 検討可能であれば、研究をしていく。



漁業に従事しているインドネシアの青年



中井 次郎 議員



若い人の捕獲班の参加が大切

町長 新規の免許取得者を今後も支援していく

シカの捕獲を

問 今後の有害鳥獣対策について。地域を回ると農家の方から「田んぼを網やワイヤーメッシュ、電気柵で囲っても、成長途中の柔らかい稲穂が食べられてしまう。何とかシカの捕獲をお願いしたい」との悲鳴の声が出ている。当局より提出されたシカの捕獲頭数は、令和元年1409

頭、令和2年1980頭、令和3年2470頭、令和4年2495頭、令和5年も既に818頭捕獲している。新温泉町と香美町は兵庫県下で緊急捕獲市町に分類されている。この分類は何を意味するのか。新温泉町の捕獲頭数の目標は何頭か。

町長 町の目標はシカが3000頭、イノシシが500頭となっている。緊急捕獲市町というのは兵庫県下で特にシカの頭数が一番多い地域ということだ。

現在の取組、今後の取組は

問 現在取り組んでいる有害鳥獣対策は何か。今後の対策はどのように考えているか。猟銃や罠（わな）の免許を持つ方をいかに増やしていくか。特に若い方に参加していただくことが大切だと思うが、その点はどうか。

町長 狩猟免許を新規に取得する方々に対して、補助制度を設けている。高齢化が進んでいることもあり、新規に免許を取得に力を入れていく。今後の対策として但馬地域の鳥獣被害対策鹿部会による捕獲。県による広域捕

獲作業などを活用して行っている。

台風7号災害と今後の課題

問 台風が通過後、町内を見て回った。大変な被害だと感じた。大

畑ヶ平は大根の産地だが、そこまでの県道は6か所の崩壊で出荷できず、4500万円の損害を予想している。

災害現場を見ると、過去の倒木が流木となって被害を大きくしていると感じた。今後、森林環境贈与税を財源にして、森林の整備が必要だと感じた。その点はどうか。

農林水産課長 現在、譲与税は間伐等に使っている。今後、譲与税を使い、できる範囲で行っていく。



こんな大きな倒木が堰（せき）となって被害を拡大させている

台風7号から見た災害対策を進めるべき

町長 想定外の雨で早急な復旧と今後の対応策を検討している

台風7号から見る災害対応



中村 茂 議員



問 今回の台風7号では、時間雨量が30ミリ前後、期間雨量は100ミリ程度で、平成2年、台風19号の半分だが、改めて危機感を覚える。早期の復旧は無論として今後に備えて、岸田諸寄線、岸田橋下流の右岸道路の冠水対策で道路の高上げや道路壁設置。青下地域の青下水路からかけての町道側溝の改良と地域の生活に密接な青下水路の復旧協議・要請（関西電力）と養魚場の復旧支援を至急

にすべき。

町長 岸田川上流部の災害現場を見てきた。



開設以来初の冠水が発生した岸田橋下流の右岸道路。今後に備えた冠水対策が必要

霧滝溪谷に上がる橋も倒壊、全滅の状況で、今回の水害が想像以上と実感している。県土木や関西電力なり、関係機関と連携を取りながら早急な復旧と今後の対応策を検討している。養魚場は、地域の水産資源を守る観点で対応したい。

「幼・小・中・高」一貫した学力向上

問 文科省は7月31日、2023年度の「全国学力・学習状況調査」の結果を公表した。前回比較と対応はどうか。

教育長 小学校の令和4年度は、全国の平均正答率を僅かに下回る結果だが、本年度は全国と同程度、向上している。中学校の昨年度は、全国の平均正答率と同程度だが、今年度は僅かに下回る結果で、中学校の英語調査は今回、前回とも全国の正答率を下回る結果です。学力アップの取組として、町独自の「授業スタンダード5」を提示して本町の教員が徹底実践をしている。

問 教育計画の「幼小中高の学びの連続性」の視点で、英語力アップの取組ができない

か。

教育長 世界で活躍するような子どもたちに育つ、育てたい思いはある。そのためには英語の力は非常に大事だ。ご提案を検討してみたい。

地域運営組織の設立状況

問 従来から地域運営組織の早期設立を意見してきた。本年度予算方針では、「話し合いの機会創出を図ります。」とある。高齢化で地域社会が弱体化している熊谷地域の状況を知りたい。

町長 今年度は未協議だが、地域の思いや過去の経過もある。無理やり組織の立ち上げは難しいが、協議を続けることで新たな流れができると思われる。



岡坂 遼太 議員



新しい気候条件へ適応した町づくりが必要

町長 あなたが言うような危険な町だと私は考えていない

未来の災害と町づくり

問 本町はゼロカーボンシティ宣言をした。取り組み理由は何か。

町長 気温上昇による様々な影響を少しでも回避するため。

問 そのとおり。激甚化する。だから台風7号のような雨は今後頻発化するがいかか。

町長 想定外で、我々は想定することはできない。

問 今計画する公共建築は未来の災害リスク

クを見据え、我々の孫世代が納得できるものを造らなければならぬ。ゼロカーボンの目的は、温暖化の緩和と適応。新しい気候条件への適応を考えた町づくりが必要ではないか。

町長 あなたと私とは考えのベースが異なる。そんな危険な町だと私は考えていない。

問 京都大学防災研究所の研究で、強い台風が本町に直撃する確率が高まるシミュレーションが出ているが。

町長 災害に強いまちづくりは必要であるが、災害には、まず避難。そして、仮に災害に遭ったら復興・復旧、そういう視点で町づくりを考えるべきだ。

浸水想定区域図の活用

問 水災害のリスクの高い地域から施設等の移転を検討するなど、長期的な防災の町づくりが必要ではないか。

町長 県が出した50年



台風7号で冠水した浜坂認定こども園横の道路（15時41分）

に1度、千年に1度の降雨の資料は、あくまでも避難のための資料。999年、49年の状況を基本に町づくりをする考え方で、日常を大事にしたい。

問 資料は、国の作成マニュアルに従って作成された。そのマニュアルには、避難の確保と浸水の防止により水害による被害の軽

減を図ることが目的とある。避難のためだけの資料ではないと県も言っている。

町長 県土木の公表では、あくまでも避難のため、と聞いている。

公約の考え方

問 実行しようとした事業が否決に次ぐ否決となり、公約を否定する内容の決議が議決された。町が取るべき行動は変わるべきではないか。

町長 そう思うので、今年7月の臨時会では現在地付近で場所を提示し、委員会では否決されたため取り下げ。その前は、すこやか広場の仮園舎を建てて、園を改修する提案したが否決された。議員に否決されたからといって、ころころ変えるものではない。

新温泉町民プールの今後は

町長 老朽化が進んでいる。今後のあり方を考える



澤田 俊之 議員



問 町内には学校用プールと一般向けプールがあるが、その目的と成果はどうか。

教育長 学校プールは、

水中で安全に関する知識的な発達をうながすこと。そして、水の事故を未然に防ぐことなどを目的にしている。

町長 浜坂B&G海洋

センタープールは、青少年健全育成と地域住民の健康づくりを目的に作られ、今年も子供・大人約750人が利用し、リフレッシュパークゆむらのプール（新温泉町民プール）は、水中ウォーキングによる健康増進、小さいお

子さん連れのファミリー層によるレジャーなどに多くの方が利用している。



新温泉町民プール。町民主体、観光主体、どこにいくのか

問 浜坂北小学校以外のプールは、建築から相当経過している。新温泉町民プールは、町民の健康施設という考えを持ち、温泉地域の小学校も利用し、その上で、リフレッシュパークゆむらが使うという考え方を取り入れる必要がある。また、浜坂地域も経費などの

ことを考えながら早期に対策を立てる必要がある。今後の改修等の計画はどのようなになっているか。

町長 B&Gプールは、

老朽化が進んでおり、今後プールを廃止し、浜坂北小学校のプールを地域へ開放する方向である。新温泉町民プールは、築40年を経過し、老朽化が進んでおり、プールの塗装、ろ過器の改修、プールサイドの張替えなどの改修を考えている。現在、検討委員会をもって今後のあり方を考えていく。

教育長 老朽化したプ

ールは漏水やプールサイドの地盤沈下などで改築が必要だと考えている。しかし、一か所に2億円程度の予算が必要となる。照来小学校は、一般のプールを使用していることなど

も考えの中に入れながら、しっかりと検討する時期に来ている。

地籍調査

問 地籍調査の目的は何か。

町長 土地の正確な地籍、地番、境界、面積、所有者を明らかにし記録することを目的としている。

問 地籍調査は、町から見れば、公共事業の用地取得の効率化・コスト削減、課税の適正化・公平化など、町民から見れば、境界紛争の解消、分筆登記時の地図活用など、有効な事業で、特に災害時の復旧復興に大事なものの。推進を図っては。

町長 早期に進捗率のアップを図りたい。



重本 静男 議員



鳥獣被害防止対策を強力に推進する施策は

町長 地域全体で取組むことで、より効果を発揮する

獣害対策

問 有害鳥獣による農作物への深刻な被害は農業従事者にとって死活問題であり農業者の生産意欲の減退につながる。本町の被害金額と被害農家数は。

町長 令和3年度、874万4000円、令和4年度で127件である。

問 獣害対策サポーター派遣事業の現状と課題を問う。

町長 令和2年度から



解体処理に向けて臨機応変に対応できる施設運営に期待する

事業を開始しており、令和5年度は、用土地区において8月より実施。本町としては、獣害対策は地域全体で行っていくことで、より効果を発揮する。

問 鳥獣処理施設の日曜日の受け入れの余地はないか。

町長 日曜日の受け入れの要望は非常に高いが、地域との約束もあり現状進んでいない。

農林水産課長 監視カメラの設置により無人の受け入れができないか試験的な運用を考えている。

ふるさと納税

問 平成20年度の税制改正によって創設されたふるさと納税制度が15年を経過した。寄付額が伸び悩む中、事業者や返礼品のアイテム数を増やす提案をしてきた。あわせて、ふるさと納税に特化した担当者をおく提案もした。4月より商工観光課内に「ふるさと寄付推進係」を配置した。その効果は。

町長 この制度が開始されて、10年目にして本町は本格的に取り組む。担当を置くことにより少しずつ成果が出ている。

問 令和5年10月からふるさと納税のルール変更・改正による影響や対策を問う。

町長 募集に係る経費を5割以内とされているものが今回、人件費を含むほぼ全ての経費

を5割以内にするよう変更された。現状のままで経費率が52%に上昇し、ルールに抵触するため、見直しを図る。

①返礼品の比率を30%から28%に変更。
②5000円の寄附受付を原則廃止し1万円以上の寄附受付とする。

教育

問 熱中症警戒アラートが発表された場合の対応について問う。

教育長 文部科学省の「熱中症事故の防止について」に沿った対応を進めている。

問 熱中症対策の指数は本町の学校園で統一されているのか。

教育長 熱中症指数計の指数が31を超えると外での活動は中止をしている。

国保税算定ミスについて、苦情はあったか

町長 問合せ67件そのうち苦情は1件



米田 雅代 議員



問 国保税算定ミスについて、苦情はあったか。

町長 問合せは、新聞報道から一週間で来庁と電話で67件、ほとんどが返金や税額に関するもの、その中で1件を苦情として整理した。その内容は、「誤りが判明したのが納税義務者からの指摘であり、算定時に気づかなかったのか」であった。

問 今年の3月には、医師報酬誤払いが判明した。この件もまた、当事者医師の問合せからである。役場内部では、このようなミスは

わからないものか。

町長 その可能性はある。今回は、特に税金の問題である。どう対処するのか。

町長 チェック体制を徹底する。

問 自治体の仕事は、税金など強制力を持つたお金を使って公共サービスを行うことである。税金徴収についての認識を問う。

町長 税金を頂くことで町政運営も成り立っている。

問 浜坂病院元非常勤医師の源泉所得税問題について、「町が損失

を受けた部分は、きちりと戻してもらおう」と発言があった。税の滞納分に関しても強い姿勢で臨むのか。



チェック体制を徹底します

広報しんおんせん9月号「こちら町長室」

問 「公務」についてどのように考えているか。

町長 町民目線で誠実に町政に向き合う。

問 新温泉町の中心部は浜坂との表現の意味

するものは何か。

町長 人口密集地であり、庁舎があるから。

問 浜坂認定こども園の周辺地域は、岸田川と味原川放水路と旧味原川に囲まれた浸水想定地域で、水害という点で、非常に厳しい。

それとともに、町の公共施設についても、40年間で約4割の削減を目標に掲げている。浜坂地域のこども園は、新しく一つにと考えるべきではないか。

町長 2園存続する。

問 1人百万円を超えている地方債（借金）からみても、一つと考えるべきではないか。

町長 あなたは水、統合、お金、この三つの要素以外にも視野を広げるべきだ。



河越 忠志 議員



個人的なことは政治的な(社会的な)こと

町長 課題解決に当たって、公平性を優先させる

課題解決における行政の姿勢

問 個人的なことは政治的なこと、あるいは個人的なことは社会的なことと言われている。行政は、地域社会の課題を分析し、財政状況を始めとする様々な条件のもとでバランスを図り、解決しながら、地域住民の幸福を追求することが使命だと考えるがどうか。

町長 地方公共団体は、住民福祉の増進を図ることを基本とし、地域

における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする規定されており、町の自主性、自立性を発揮しながら取り組んでいきたい。

問 行政にとって、様々な地域課題の原因分析が、重要だと思う。一般的には受益者負担、原因者責任が解決の基本原則だが、一部に支障をきたす前村の圃場整備や集落内の牛舎の存在など、原則では片づけられない課題が多くある。それらを解決するのが行政の役目だと思うが、そ

な課題の解決策をどう考えるか。

町長 一つ一つ課題解決をすることが、行政の大きな役割だが、利益誘導にならないよう公平性を十分に認識した上で、課題解決に向き合う必要がある。

問 湯区の春來川河川敷の一部の土地が、当時の新温泉町が深く関わり、9名の個人に払い下げられた際の公図に誤りがあることは、詳しく資料にまとめて、提出済み。修正に向けた法務局協議、新温泉土木事務所との協議を経て、無償協力を申し出た経緯もある。その中で今まで、この誤りへの対応に関する

質問に対して、特定の個人の土地に関する件として答弁を避けてきた。しかし、その方は、当事者ではない。課題放置の正当性はどこにあるのか。

町長 過去何年間かやり取りをしてきた案件のため答弁を控える。

問 平成31年度に湯区内町道の消雪設備の水量不足の対策工事が計

画され、未実施のまま。この件は、近隣住民の方からの申出によるもので実施の通知がされていた計画だ。前の議会で、その方への説明はされていないとの答弁だった。計画変更などの説明はされないのか。

町長 その必要性については確認をする。



現在、水量不足が生じている消雪設備の水源地（水源変更計画は凍結され、改善策さえ示されていない）

浜坂認定こども園の早期整備は、喫緊の課題

町長 早期整備が行えるように頑張る



浜田 直子 議員



浜坂認定こども園の早期新築整備

問 園舎視察では、園児は楽しそうに過ごしていたが、当時保育園として作られているため、古さと不便さをと

ても感じた。保育教諭の愛情による工夫と努力でしのいでいる。老朽化で屋根が飛ぶなど危険である。現在地での新築を急ぐべき。

町長 早期整備に向けて頑張る。

問 この50年の間に、保育に求められる条件は、女性の社会進出も

進み多様化され、増えた。社会も子育てを支援している。大切な幼

児教育の充実のため、保育教諭の方が働きやすい環境を整えるべきではないか。

町長 現状に合わせて対応したい。

問 新築なら、幼児教育の充実、安全対策や避難所機能も考えた造りができる。子育てゾーンとしての展開もあるが。

町長 地域の希望、歴史など判断。現在地で一刻も早く進めたい。いろんな施設の充実が図れる。浜坂の中心部である。

問 大庭も、古いが。2園存続で考えている。早急に手を打つ。

児童の充実のため、保育教諭の方が働きやすい環境を整えるべきではないか。

町長 現状に合わせて対応したい。

問 新築なら、幼児教育の充実、安全対策や避難所機能も考えた造りができる。子育てゾーンとしての展開もあるが。

町長 地域の希望、歴史など判断。現在地で一刻も早く進めたい。いろんな施設の充実が図れる。浜坂の中心部である。

問 大庭も、古いが。2園存続で考えている。早急に手を打つ。

町長 早期整備に向けて頑張る。

問 この50年の間に、保育に求められる条件は、女性の社会進出も

進み多様化され、増えた。社会も子育てを支援している。大切な幼

児教育の充実のため、保育教諭の方が働きやすい環境を整えるべきではないか。

町長 現状に合わせて対応したい。

問 新築なら、幼児教育の充実、安全対策や避難所機能も考えた造りができる。子育てゾーンとしての展開もあるが。



子ども達、保護者、地域の笑顔の益々増える園舎の早期新築整備が望まれている

台風、大雨時の対策と対応。その後の海岸、河川の堆積物等の環境保全、美化

問 今回の台風で、味原川放水路により、洪水の危険性は低いと感じたが。

町長 河口付近の整備を行えば安全性は、更に上がる。

問 味原川河口に県河川アクションプログラ

ムの水門の計画を県土木で聞いた。益々安全になるのでは。

町長 地域の要望でもある設置に向けて努力していく。河口の土砂の堆積の対応ができれば、こども園が、冠水しない。

問 増水等災害に対する対策は。

町長 情報の発信、自主防災会など平時の備えと訓練。

問 相撲が地域の子どもたちに浸透するには。

教育長 今年度、わんぱく相撲大会、浜坂東小学校すもう場改修記念すもう教室・大会を相撲連盟と協力し開催。

問 魅力アップの対策は。

教育長 中高連携方針検討委員会、ふるさと・偉人はじめ一貫教育を協議している。

浜坂高等学校の支援

問 支援策、通学・支援金の増額・給食は。

教育長 バス通学4分の3支援。支援金2分の1支援、給食に向けて検討中である。

問 魅力アップの対策は。

教育長 中高連携方針検討委員会、ふるさと・偉人はじめ一貫教育を協議している。

問 部活など増、子供会の文化祭協力などは。

教育長 地域として浜坂高校を応援していく。

問 相撲の町

町長 相撲が地域の子どもたちに浸透するには。

教育長 今年度、わんぱく相撲大会、浜坂東小学校すもう場改修記念すもう教室・大会を相撲連盟と協力し開催。

問 魅力アップの対策は。

教育長 中高連携方針検討委員会、ふるさと・偉人はじめ一貫教育を協議している。

問 部活など増、子供会の文化祭協力などは。

教育長 地域として浜坂高校を応援していく。

問 相撲の町

町長 相撲が地域の子どもたちに浸透するには。



池田 宜広 議員



浜坂病院の今後のあり方は

町長 策定委員会で検討している

病院あり方検討委員会の答申を受けて

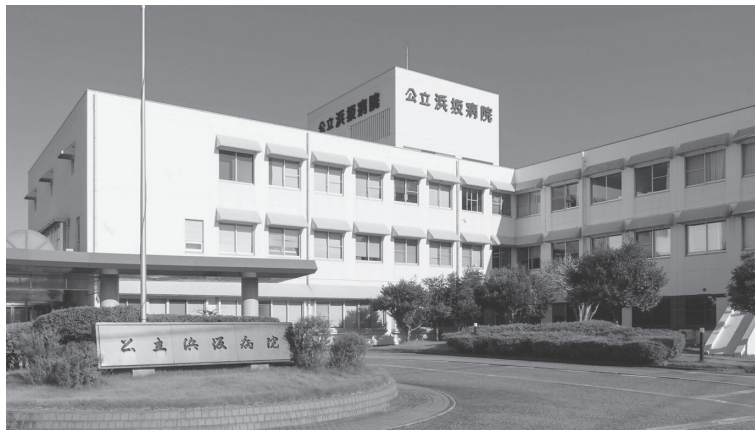
問 平成30年10月に答申として具体的に6項目が揃っている。次項に危惧される点、期待される点と詳細に明記されている。相当時間も経過しているが、この答申を受けどの様な方向に進めようとしているのか。

町長 この計画を実行する予定はない。現在、策定委員会で検討している。現状の形を強化

できるような頑張ってきたと考えている。
問 前町政からではあるが参事職を配置し、医師、看護師の招へいに努めてきた。今春から不在である。今後はどう考えているのか。

町長 配置は考えていない。職員にて頑張っていく。

問 現在は、開業医の先生方も町の医療に相当貢献して頂いているが、後継者があるかどうか心配だと思う。



地域医療の最後の砦、公立病院としての役割を

現状の形を強化していく考えならば、公立病院の今後のあり方を早期に判断し、老朽化している建物も考えていくべきだ。いっそコンパクトに建て替えも検討してはどうか。

教育長 現在、統合は考えていない。
問 町の基準を聞いている。

安全衛生委員会の議論を深めよ

教育長 町の基準としてはない。

問 特に、精神衛生の議論を深めるべき。私は人事権を有していないが、人事異動も相当な確率で精神衛生に関係していると思う。

問 園のみの課題ではない。小学校再編も基準を策定すべきだ。

100%完璧な人事異動は難しいと思うが、相当吟味してやるべきだ。

町長 あなたは、何でも統合論で話す。いろいろな背景があるというこの認識に改めていただきたい。

町長 確かにそういう現状はある。支援策、バックアップをしていきたいと思っている。

問 それ相応の認識はもっている。着地点を見いだそうと考えての発言だ。今回の質問は、一定の基準を策定すべきだとの質問である。

町長 総合的に判断していく。

町の園統合の基準はあるのか

総務産建常任委員会

9月12日・27日開会

牧場公園課

公園山頂までの管理道の周辺整備

報告 町民に森林整備の価値を認識してもらうため、森林環境譲与税を利用し整備する。

Q リフトも活用した旅行商品も作成し、教育旅行を呼び込めないか。

A 商工観光課とも連携し検討したい。

農林水産課

堆肥センター

報告 新しく有識者、関係機関で構成する「家畜ふん尿処理対策検討委員会」を設置し、堆肥活用に関する検討を開始する。

森林・林業・ヒジョン

報告 町の8割を占める森林について、今後の整備・活用の指針を策定する。そのための

有識者、関係者で構成する策定委員会を設置する予定である。

台風7号の農業被災

報告 農地・農業用施設は全体で236箇所の被災があつた。災害査定を11月に行い、12月議会で補正予算措置を行う予定である。

建設課

台風7号の道路・河川の災害

報告 道路32件、橋梁1件、河川34件の被害が発生し対応中である。

新市橋工事の再補正

Q ひびわれが判明したとのことだが、工事前の調査で分かるものではないか。

A 工事前の調査段階ではひびわれは無く、その後の大型車の通行等によりできたものと思われる。

商工観光課

ワーケーション事業の実績

報告 町外の方の宿泊招待や課題解決検討事業で約200人、予算約1500万円を執行し、令和2年から3年間行ってきた。

Q 町の交流人口目標150万人に対する貢献度はどうか。

A 地元企業や住民と新事業を行うなど、関係人口増加の一助になっている。また参加者は、情報発信に積極的である。

リフレッシュ館町民プールあり方検討

報告 プールの老朽化が激しく、関係者、有識者による、廃止を含めた協議検討を行い、施設の今後のあり方の方針を決定する。

Q 以前の一般質問で、8億の改修費が必要と

あつた。観光と町民の健康増進のどちらに重きを置くかで判断が変わってくるがどう考えているか。

A 今回の検討委員会で方向性を導き出した

居組の海業振興モデル事業（水産庁）

報告 既に「居組海業協議会」を設置し、主管である浜坂漁業協同



居組漁港

組合のもと、水産庁が指定したブレーンと共に、事業計画や具体的な事業メニューについて協議を行っている。

企画課

新温泉町民バス条例改正（訪日客専用JRパスの利用認可）

Q 町民は有料なのにJRパスを購入した外国人を無料にするのは、町民にどう説明するのか。

A 町民向けには障がい者や高齢者等の割引がある。今回の施策は、訪日外国人に來訪いただく事により、町の経済活性化にもなる。また、JR西日本とは路線の存続問題を協議しており、今後のこの協議にも好影響を与える事も期待している。

民生教育常任委員会

9月14日開会

こども教育課

学校園の施設改修

Q 修繕費と工事請負費の分け方はどうなっているか。

A 基本、設計で130万円以上のものが工事請負費としているが、案件ごとに判断している。

生涯教育課

第2期新温泉町スポーツ推進計画

Q 従来とは違う計画書にすべきだが、どうか。

A 今後、町の10年を見通し、必要な事項を入れていく。また支援制度等は、資料として、別途まとめていく

Q eスポーツは取り上げるのか。

A 本町にとっても今後の伸びしろはあるが、現況を判断していく。

町民安全課

スマートフォンによる証明書のコンビニ交付は始まっているか。

A まだである。

Q コンビニ交付できない日を、ホームページで報告しているが、保守点検の日は定期的なものではないのか。

A 点検日は適宜決められる。

消防団

Q 消防団退職者が予想より増えたのは処遇変更が影響しているのか。

A 直接には関係しているとは思われないが、聞き取り、アンケート等で、消防団と協議し把握する。

健康福祉課

ユートピア浜坂浴槽の水の水質検査結果

報告 8月25日に採取した浴槽水の水質検査結果が9月8日に到着し、女子大浴場からレジオネラ菌が検出された。同日から女子大浴場の使用を停止し、9月13日に豊岡健康福祉事務所が立入検査した。

Q 危機管理の面から迅速に的確に対処すべきではないか。9月8日時点で公表すべきではないか。

A 豊岡健康福祉事務所の見解を待ち、町の方針を決めてから公表すべきと判断した。

Q 利用者への対応はどうしたのか。

A 受付で女子大浴場は使えないが、小浴場は使えたと案内した。

Q 管理はどのようにしていたのか。

公立浜坂病院

報告 公立浜坂病院50周年、介護老人保健施設ささゆり25周年記念講演会を11月26日、夢ホールで開催する。

報告 公立浜坂病院50周年、介護老人保健施設ささゆり25周年記念講演会を11月26日、夢ホールで開催する。

浜坂認定こども園・大庭認定こども園の視察

視察報告 8月22日浜坂地域の町立こども園2園の施設視察を教育長・こども教育課長同行のもと実施し、両こども園の園長より施設の不具合等を伺い、質疑を行った。

上下水道課

Q 事業費は変わっていないのに、町の負担額が増えている。なぜか。

A 県から補償費の提示があり、これに基づき変更するものだ。



令和5年9月 第126回定例会の議決結果

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	結 果
	1 中 村 茂	2 西 村 龍 平	3 岡 坂 遼 太	4 澤 田 俊 之	5 米 田 雅 代	6 森 田 善 幸	7 浜 田 直 子	8 河 越 忠 志	9 重 本 静 男	10 竹 内 敬 一 郎	11 岩 本 修 作	12 池 田 宜 広	13 中 井 勝	14 中 井 次 郎	15 小 林 俊 之	16 宮 本 泰 男			
町道二日市古市線新市橋上部工修繕 工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	14	1	可決
固定資産評価審査委員会委員の 選任同意について	無記名投票															-	8	7	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	14	1	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	14	1	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	14	1	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	12	3	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	14	1	同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	7	8	不同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票															-	14	1	同意
令和4年度新温泉町一般会計歳 入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	14	1	認定
物価上昇に見合う高齢基礎年金 の改善を求める請願書	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	-	4	11	否決
町道二日市古市線新市橋上部工修繕 工事請負変更契約の締結について	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	12	3	可決

「○」は賛成、「×」は反対を示しています。議長は採決に加わりませんので、「-」で表示しています。
ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が決します。(全議員賛成議案は省略)

議会日誌

(7月)

31日 議会運営委員会
31日 第125回新温泉町議
会臨時会

(8月)

1日 「山陰新幹線整備促進
麒麟のまち6町議員連
盟」役員会《岩美町》
「差別をなくし人権文
化をすすめる町民運
動」街頭啓発

2日 兵庫県町議会議長会議
会広報研究会《神戸市》
5日 北近畿豊岡自動車・山
陰近畿自動車道早期実
現促進大会《豊岡市》
22日 民生教育常任委員会
23日 兵庫県町監査委
員協議会臨時総会・研
修会《神戸市》
25日 議会のあり方等調査特
別委員会
31日 全員協議会

(9月)

1日 議会運営委員会
総務産建常任委員会
6日 第126回新温
泉町議会定例会
7日 議会広報調査特別委員
会
8日 全員協議会
9日 夢が丘・浜坂中学校運
動会
11日 美方郡広域事務組合議
会議会運営委員会
12日 議会運営委員会
総務産建常任委員会
14日 民生教育常任委員会
16日 温泉・照来・浜坂西・
浜坂南・浜坂北小学校
運動会
19日 議会運営委員会
20日 第92回美方郡種牛共進
会
21日 決算特別委員会
24日 2023 世界の但馬
牛まつり
27日 総務産建常任委員会
ゆめっこ・浜坂・明星
認定こども園運動会
30日

令和5年 第126回定例会 提出議案一覧

発案番号	件 名	発案番号	件 名
報告第6号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	議案第98号	令和5年度新温泉町一般会計補正予算（第4号）について
報告第7号	専決処分の報告について（専決第2号）損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第99号	令和5年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
報告第8号	専決処分の報告について（専決第3号）損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第100号	令和5年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
報告第9号	専決処分の報告について（専決第4号）損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第101号	令和5年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について
承認第1号	（専決第5号）令和5年度新温泉町一般会計補正予算（第3号）の専決処分について	議案第102号	令和5年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第80号	新温泉町民バス条例の一部改正について	議案第103号	令和5年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第81号	新温泉町印鑑条例の一部改正について	議案第104号	令和5年度新温泉町水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第82号	町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結について	議案第105号	令和5年度新温泉町下水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	認定第1号	令和4年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第84号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	認定第2号	令和4年度新温泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第85号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	認定第3号	令和4年度新温泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第86号	農業委員会委員の任命同意について	認定第4号	令和4年度新温泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第87号	農業委員会委員の任命同意について	認定第5号	令和4年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第88号	農業委員会委員の任命同意について	認定第6号	令和4年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第89号	農業委員会委員の任命同意について	認定第7号	令和4年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第90号	農業委員会委員の任命同意について	認定第8号	令和4年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計決算の認定について
議案第91号	農業委員会委員の任命同意について	認定第9号	令和4年度新温泉町水道事業会計決算の認定について
議案第92号	農業委員会委員の任命同意について	認定第10号	令和4年度新温泉町下水道事業会計決算の認定について
議案第93号	農業委員会委員の任命同意について	認定第11号	令和4年度新温泉町公立浜坂病院事業会計決算の認定について
議案第94号	農業委員会委員の任命同意について	請願第5号	物価上昇に見合う高齢基礎年金の改善を求める請願書
議案第95号	農業委員会委員の任命同意について	議案第106号	令和5年度新温泉町一般会計補正予算（第5号）について
議案第96号	農業委員会委員の任命同意について	議案第107号	町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結について
議案第97号	兵庫県町土地開発公社の解散について	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



挿し絵 清水伸子氏

演奏活動で地域に貢献

活動内容は…吹奏楽団設立の主な目的を「吹奏楽の演奏活動を通して、地域の音楽文化の振興と音楽のある豊かな地域づくりに貢献する。」として、令和5年7月1日に活動を始めた楽団です。

浜坂多目的集会施設と温泉町民センターを会場として、第1・3木曜日に練習をしています。

これまでに出演した舞台は、芸能のつどい（7／1）と北前船寄港地まつり（8／19）、今は11月に出演する「新温泉町文化祭」「もみじコンサート」に向けて練習に励んでいます。

メンバーは…現在の団員は12名。団員それぞれの居住地は、新温泉町7名、香美町3名、鳥取市2名（新温泉町出身の方）です。

セールスポイントは…楽団には様々な世代



今年7月1日、夢ホールで開催された「芸能のつどい」オープニング演奏、楽団としての初舞台でした。（曲目は「ミッキーマウスマーチ」）

美方郡吹奏楽団
「スパパラダイス・ウィンドオーケストラ」

団長 中村 智 洋

の方が在籍。練習日にはお仕事が終わった方から次々と合奏に加わり、ハーモニーが広がっていきます。満足のいく音楽を奏でることができたときの皆さんの笑顔が最高です。

美方郡に初めてできた社会人の吹奏楽団です。今後、さらに音楽活動の輪を拡げたいと思っています。

今後の抱負は…地域の皆さんに楽しんでいただける演奏を目指して練習に励んでいます。

子ども向けの曲、昭和の懐かしい曲などを含めて、様々なジャンルの曲をレパートリーとして持つ楽団にしたいと思っています。

皆さんにお願いしたこと…楽器経験者の方、楽器をお持ちの方で、もう一度吹奏楽をしてみたいと思われる方は、是非ご連絡ください。

編集後記

本町議会の議会構成は2年毎に変わります。そして、今号が現構成での最後の発行です。この2年間で本誌は、「議会ってQ&A」コーナーの設置や見やすい書体のUDフォントの導入、特集を組むなどの改善をしてまいりました。町民の皆様への町政理解に少しでも役立てられれば幸いです。

11月からは新たな構成となります。委員が変われば視点も雰囲気も変わります。多様な視点を持つて町政と向き合ってください。引き続き町議会並びに議会だよりをよろしくお願いいたします。

（R・O）

次回定例会は12月です。傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

委員長	森田 善幸
副委員長	岡坂 遼太
委員	中村 茂
	西村 龍平
	澤田 俊之
	米田 雅代

発行者 議長 宮本 泰男